

しばらくの間、ASSETSが滞っていましたが、ウクライナ問題という人類の危機を前にして、森館長も懸命に学習して、本当の戦争の原因を調べ、今後の展開についての研究をしていました。いくつかの難解なASSET S特別版で、このことについての文書は配布しましたが、より詳しい文書もありますので、欲しい人には配布をします。さて、今回以降は、ウクライナ問題以外の色々な情報についての紹介に戻ります。まずは最近の新聞から。

【下】アーネスト・ヘミングウェイの小説「キリマンジャロの雪」で有名なキリマンジャロ山の山頂の雪が解けています。もうほとんど溶けてしまっています。よく見てください、この写真は2007年の写真です。メディアいくつかのごまかしをすると館長が言っているように、この写真は載せるべきではないのです。2022年の写真を掲載すべきなのです。グレッタ・トゥーンベリさんが叫ぶように、この記事のように「2050年まで地球上の水河が持ちこたえられる可能性」はあまりないのです。森IN志成館がいうようにSDGsでは手遅れなのです。事態は科学者の予測をはるかに超えて悪化の一途をたどっているのです。

【下】福岡県には、ありとあらゆる果物があり、しかも果物畑に行くと、自分で収穫をすることができます。館長は先週、熊本県北部の山鹿市に行って、日本栗＝和栗のまんじゅうやパイや焼き栗を食べてきました。そのまえには甘木に行って柿を買ってきました。106教室の横の干し柿は柿で有名な杷木の柿なのです。下の写真は、5年前の新聞を保管したもので、あなた達を社会科見学に連れていく準備をしていたものです。ここは大きな果樹園で、ブドウと柿とリンゴとミカンがあり、いつでもくだもの狩りができるところで、秋の行楽には最高の場所です。お百姓さんがレストランを運営されており、店の名前は「林檎と葡萄の樹」という名前です。甘木市にあり、車で50分くらいです。今秋にも2度ドライブしました。このアップルパイとリンゴカレーはとておいしく思います。お薦めです。ちなみのこの写真に写っている果樹園経営のおじさんは、館長と同じ年です。気前が良いのでおまけにくだものをくれます。言ってみませんか？来年の10月には、社会科見学でぜひとも恒例の山口県の徳佐のリンゴ園かここに行きたいですね。



タンザニアにあるキリマンジャロ山
2007年（ロイター共同）

世界遺産の氷河 消滅危機

ユネスコ「50年までに十数カ所」

【ミュンスター（ドイツ）共同】タンザニアのキリマンジャロ国立公園や米国のヨセミテ国立公園などの世界遺産にある多くの氷河が、2050年までに消滅するとする報告書を、国連教育科学文化機関（本部パリ、ユネスコ）が発表した。氷河を含む世界遺産は50あり、そのうち3分の1に当たる十数カ所で消滅するとしている。一方、世界の気温上昇を産業革命前と比べて1.5度に抑えれば、残り3分の2の氷河はまだ保護できるという。

氷河は世界で重要な水源となっており、ユネスコと共に報告書を作成した国際自然保護連合（IUCN）のブルーノ・オペール事務局長は「氷河が急速に失われると、何百万人もの人々が水不足に直面し、洪水など自然災害の危険も高まる」と警告した。

23 番組 福岡 2017年(平成29年)11月10日(金) 毎日新聞

果樹畑に憩いの空間

人気のアップルパイ「外はカリッ、中はしっとりほどよい甘さ」



丸太を半分削ったテラスやアンティーク遊具に楽しんだ食事は、調度品などを基調とした落ち着いた雰囲気。アップルパイは人気。アップルパイや

九州北部豪雨で被害が出た朝倉市山田地区に人気のアップルパイの店が訪ねてきた。果樹畑の中にあるその店は福岡市や北九州市、久留米市などさまざまな地域の人たちが集い、自由な時間を楽しむ憩いのスペースとなっていた。

大分道の朝倉インター、コーヒー、ジュースの、中はしっとり。ほろりんごから車での他、リンゴを使ったかどよい甘さで最高で10分の所にお目当ての、レも食べることが、す。と絶賛した。

店「林檎と葡萄の樹」みる。店内では福岡市、元々の店はリンゴがあった。天井が高く、南の庇の人、岡山、狩りなどができる観光の店になった。現在は

週末には1日1000人も

長男の伸吾さん(38)が中心となりアップルパイを作っている。

アップルパイは煮込んだリンゴをふんだんに使う。そのため、フォークで切って食べよ。うとすると中からあふれ出てくる。牛乳と卵を使った特製ソースも添えてあり、まぶすとこのある味わいを楽しめる。リンゴは季節によって味が変わるため、味を統一する確認作業は欠かせないという。

アップルパイとカレー

一部被害を受ける

九州北部豪雨で一部被害を受ける

同地区は7月の九州北部豪雨で被害が出ている。

「天井が高く、丸太を削ったテーブルで食事を楽しめる店内」

「林檎と葡萄の樹」朝倉市山田758 0946・52・0913 午前10時～午後6時 年中無休

果樹園で熟したリンゴを摘む様子

【下】【左重複部分】福岡市東区の「博多高校」でのいじめの記事です。剣道部の女子高生が自殺したのは、指導者である人物と学校に責任があると、珍しくも、学校が素直に過失を認めて、謝罪および倍手金の支払いに応じたという記事です。日本中の大学・高校・中学の体育会系の部活には、いまだに戦前の軍国主義的な体質が残っていることもあり、(実は自衛隊も警察署などにも同じような問題があるのですが・・・) そのような組織の体質が自分に合わないと思ったら、避けてください。遊びであるはずの部活で命をなくすなどという馬鹿げたことがあってはならないのです。ただ、素直に過失を認めた博多高校の態度は立派です。このページのどっかに張り付けている「長崎県の高校でのいじめ自殺についての対応は、学校側も県側もとてもひどいものなの」ですから。

「顧問の暴言に参っている」母の相談聞き入れず
指導者に自殺学校側「責任」
再発防止約束、遺族と和解

2020年9月、福岡市東区立博多高校の1年生で剣道部員だった女生徒が自殺した。自殺の原因は、顧問の暴言によるものであったと、母が学校側に訴えた。学校側は「指導者の責任」として謝罪し、倍手金の支払いに応じた。遺族は「再発防止を約束された」として和解した。母は「再発防止を約束された」として和解した。母は「再発防止を約束された」として和解した。

高2いじめ自殺提訴
長崎地裁 遺族「学校側対策怠った」

長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。

「顧問の暴言に参っている」母の相談聞き入れず
指導者に自殺学校側「責任」
再発防止約束、遺族と和解

2020年9月、福岡市東区立博多高校の1年生で剣道部員だった女生徒が自殺した。自殺の原因は、顧問の暴言によるものであったと、母が学校側に訴えた。学校側は「指導者の責任」として謝罪し、倍手金の支払いに応じた。遺族は「再発防止を約束された」として和解した。母は「再発防止を約束された」として和解した。

高2いじめ自殺提訴
長崎地裁 遺族「学校側対策怠った」

長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。長崎地裁で遺族が学校側を提訴した。

毎日新聞

沈む日本円安拍車

32年ぶり一時148円台

「焦点」

経済力低下「負け組」の代表

対ドルで円相場は大きく変動してきた。円安が加速している。円安が加速している。円安が加速している。

対ドルで円相場は大きく変動してきた。円安が加速している。円安が加速している。円安が加速している。

2022年(令和4年)11月8日 火曜日

米粉収穫期 膨らむ期待

熊本 主名

小麦粉の価格高騰で注目

「米粉=ビーフンの原料」を栽培している農村の見事な田んぼの収穫の写真です。日本は水田を復活させることができないわけではありませんし、水も豊富な素晴らしい国なのです。少しは安心しましたか？

【左】今後も繰り返しますが、いろいろな意味で30年前は世界でトップの経済力を持っていた日本は、ここ30年で、先進国最低の「負け犬国家」に成り下がりました。本当ですよ。その原因はおろか得意地なしの政治の指導者と自分の企業さえ儲かればよいと考え同業他社の利益や会社で働く労働者の低賃金や労働環境に関する苦しみを考えようとしなかった日本を代表する企業家に責任があります。しかしそれ以上の原因もあります。それは「プラザ合意」と呼ばれる、力をつけてきた日本企業を、貿易赤字という理由で潰しにかかったアメリカ合衆国のひどい政策に原因があります。これ以降日本企業や政治家は、委縮してしまい、発展を控えた結果、今や中国や韓国にも追い越された最悪の負け組の国家になってしまったのです。アメリカは戦後、アメリカ合衆国の小麦を売るために日本のコメ農家を潰し、次いでオレンジ自由化で先生のような果樹農家を潰し、そして半導体産業まで潰してきたのです。しかし日本の自民党や朝日や読売などの大メディアそしていくつものテレビ局も「アメリカは日本と仲の良い国で、中華人民共和国は敵国である」という洗脳を続け(今問題の統一教会と同じことを日本中の国民がされているのです)、このことはすでに20年ほど前にアメリカ政府の公式文書で公表されているのです)、多くの国民が真実を知らないままの状態です。今の円安や半導体での惨めな負け犬の姿をさらしてしまっているのです。岸田総理や日本を代表する大企業が、ごく最近対策を発表しましたが、日本は10年遅れており、勝てる可能性はほとんどないというのが専門家の意見です。館長が言っていたように、今や「中国の企業に就職して、日本より高給をとる時代」が始まっているのです。あまりにも情けない時代になりました。あなた達の力でこの衰えな日本を救ってください。
※悲しいことなのですが、今も敗戦国日本はアメリカの植民地なのです。沖縄の姿こそ、日本の真の姿なのです。わかってください。(下)

【下】上の記事とかかわっているのですが、アメリカ合衆国政府と日本政府にいじめ続けられている沖縄の人たちには、ずっと以前から「ヤマト(=日本)から独立して別の独立国をつくらう」という動きがあります。下の親川さんは「そうならないようにするためには日本本土の人=ヤマトは責任を果たすべきである」と訴えられています。館長ももったもんな意見だと思いますが、いかがでしょうか。

独立論 目指す対等な関係

ボール持つのはヤマト

「琉球独立」を研究する 親川志奈子さん

おやかわ・しなこ 1981年、沖縄県沖繩市出身。2009年、琉球大学大学院修士課程修了。13年5月15日に琉球民族独立連合研究会を設立し、現在は共同代表。沖縄大学行動顧問。放浪後児童クラブの運営や通訳・翻訳・執筆も行う。